

2019年  
1/10号  
No. 46

# 辻堂東海岸3丁目 コミュニティだより

2019（平成31）年 1月10日号  
発行者：会長 大谷 晃  
編集：3丁目町内会企画広報部  
<http://tsujido-higashikaigan3jimdo.com>



辻堂東海岸3丁目町内会  
会長 大谷 晃

## 謹賀新年



明けましておめでとございます。  
東海岸三丁目町内会の皆様、本年も宜しくお願い致します。  
さて、皆様におかれましては去年はどのような年だったでしょうか。

去年の町内会の活動の思い出と致しましては、なんとと言っても三丁目幹事会による東海岸夏まつりでした。三丁目の皆さんにはお揃いのハッピを着てもらい、浴衣姿で初出場の湘南太鼓との見事なコラボで盆踊りを盛り上げてもらいました。櫓の上で堂々と踊る姿や小さなお子様達を誘導して踊る姿に感動の涙が出てきました。

また、夜店も大変な賑わいで、声を枯らしながらの威勢のいい呼び声に過去最高の来店者と売上を記録しました。  
地区レクリエーション大会も皆さんの綱引きや玉入れ、リレーの奮闘により二年連続の総合優勝を果たす事が出来、帰りには沢山の賞品を持って帰る姿に、とても嬉しく、会長と致しましても鼻高々な年でした。

他にも辻堂地区の役員方との賀詞交換会、新成人のお祝い、炊き出し訓練、防犯パトロール、地引き綱大会、バス旅行、夕涼みコンサート、地域清掃、防災訓練など、沢山の行事がありました。

一方、去年は全国各地で沢山の災害が起こった年でした。被災された方々の事を思うと、とても心が痛みます。湘南地区では特に大きな災害はなかったですが、いつ災害がやって来ないとは限りません。そんな事態の時の為にも、是非、地域の方々とは協力し合って住みやすい町内会を目指しましょう。  
引き続き、町内会の活動にもご理解の程、宜しくお願いたします。

「目次」 新年の挨拶（会長）…1  
各部から報告…2・3・4  
お知らせ／編集後記…4





## ◆辻堂地区総合防災訓練の報告◆

第25回辻堂地区総合防災訓練が11月25日(日)に浜見小学校で10時から12時にかけて実施され、470名が参加されました。今年は総合防災訓練への参加者を災害時の避難者と見立てて避難所開設訓練が行われ、避難所を開設する際の混乱に参加者は若干なりとも経験されたようです。当町内会長の谷会長はたまたまですが、ペットを避難所に連れてきた避難者という役割で、避難所開設の受付担当がどのように対応するのかの訓練に協力いただきました。避難所開設に携わった方々は浜見小学校を避難所とする町内会、自主防災会の方々でした。来年の総合防災訓練を開催する小学校は高砂小学校ですので、来年は高砂小学校を避難所とする町内会、自主防災会の方々は、来年は自分の番だということで真剣に見ておられました。



浜見小学校の校庭にて開会式を行った後、参加者を避難者に見立てて体育館前で受付を行い、町内会毎に集まりました。防災協議会の小川会長の挨拶を始め、鎌田氏の説明をお聴きし、災害時に必要な『おかしも』のフリーズ(次ページ)や、日本の国土は世界の0.2%にも関わらず、地震は20%もあるという講話に皆真剣に耳を傾けていました。(前田)

- ◆防災訓練の参加者を災害時の避難者と考え、実際にスタッフが『避難施設の開設や受け入れ』を実地されました。参加者は避難者情報カードを家族単位で記入・提出しました。実際に受付を行って見ると、要介護者・要支援者の受け入れ方法や、ペット同伴で避難してきた方への対応など、瞬時に判断することが出来ず、様々な課題が見えてきたようです。また、愛媛県の災害において、二ヶ月後、避難所を開設した方に聞き取り調査をしたところ、避難所のあり方に理想と現実とかなり食い違いがあったそうです。この日、訓練ではどんな問題があったのでしょうか。
- 総務班からの感想は『受付が思うように上手くいかなかった』『実際には避難されてきた避難者ではあるけれど、受け入れるほうも同じ様に災害にあっている状況であり、避難者も避難所では協力者でもあるのではないかと、『発電機の音が大きすぎて、人の話が聞こえない、音が気になる』などがありました。
  - 食料班からは、『防災倉庫には何が入っているのか、がよくわからず、事前に把握する必要があった』
  - 物資班からは、『発電機や投光器は簡単だが人を誘導するのが難しかった、ペットの誘導が吐嗟に出来なかった』
  - 要介護支援班からは、『実際災害が起きた時、介護支援をすることを想像すると難しい、天候が悪いと更に難しい』
  - 衛生班は、『簡易トイレを組み立て、設置した。自分で作れるようになることが必要。災害時は三個設置する予定。壁に亀裂は入っていないか、ガラスは割れていないか、修理が必要か、等をチェックし、皆で役割分担することが必要』
- 総合的に『行政ではなく、避難者が主体になって避難所を運営していかなければならず、それには最初の立ち上げが重要である。また、現実問題、真っ先にトイレの設置が必須である。『行政+防災協議会+まちづくり会議など』が『避難者』と一緒に協力しあいながら行うことが必要である。以上の様な体験談をお聞きできました。(広報前田)



## ◆第25回 辻堂地区総合防災訓練 11月25日(日) 浜見小学校 10時~12時頃まで

高齢者疑似体験、応急救護訓練、心肺蘇生訓練、土嚢訓練、担架組立搬送訓練、家具転倒防止ワークショップ  
ロープワーク、濃煙体験訓練、起震車震度体験、消火器操作訓練、車イス体験訓練、防災備蓄展示、防災倉庫展  
示、AEDの取り扱い、子ども消防士体験、消防団操作訓練、消防士によるはしご訓練、非常食の試食、他



### ●避難訓練で言われる「おかしも」、「おかしもち」という言葉をご存知でしょうか？

「おかしも(ち)」の意味は保育園や小学校等の避難訓練にて話される訓話のキーワードです。

- ◆「お」――押さない (避難中は前の人を押してはいけません)
- ◆「か」――駆け出さない (避難中は駆け出してはいけません)
- ◆「し」――しゃべらない (避難指示が聞けなくなるのでしゃべってはいけません)
- ◆「も」――戻らない (どんな忘れ物があっても避難してきた場所に戻ってはいけません)
- ◆「ち」――近寄らない (どんな事情があっても避難してきた場所に近寄ってはいけません)



「おかしも(ち)」は子どもでも覚えやすいため今では防災として有名なフレーズとなったようです。たいてい子どもたちは保育園・幼稚園・小、中、高校で年に一回は避難訓練を行っているでしょう。しかし、大人は地域の訓練等に参加しない限り、なかなか訓練をする機会がありません。実際に防災訓練・避難訓練に参加されたという経験は、災害時に効果があったと証明されています。また、訓練を行うことで、毎回様々な問題点が見えて来ます。皆で意見を出し合い、一つずつ問題を解決していきましょう。当町内会の様に海や川の近い地域は、どこに、どのように避難するのが良いのか、また、要援護者対策、英語の案内が必要な方にはどのように伝達するのか、停電や火災が発生した事例も多くあるため、様々なことを想定しながら、地域で協力し合い考えて参りましょう。(広報 前田)

世界に占める日本の国土面積は0.25%であるにもかかわらず、マグニチュード6以上の地震回数は22.9%、活火山数は7.1%にもものぼる地震・火山大国である。浅間山、霧島等で活発な火山活動が続いている他、三宅島では長期間の火山ガスの放出により予想を上回る枯死木が発生しており、住民の帰島にあわせて一層の土砂災害対策が必要となっている。

また、東海地震はいつ起きてもおかしくなく、東南海・南海地震は今世紀前半にも発生するおそれがあり、両地震とも発生した場合には甚大な被害が想定される。既存の施設を活用し、緊急的に防災機能を確保することが必要です。過去の南海トラフでの地震・津波被害は右記の通り。

1707年 宝永地震(M8.6)	死者 5,049人
1854年 安政南海地震(M8.4)	死者 2,658人
1944年 東南海地震(M7.9)	死者 1,251人
1946年 南海地震(M8.0)	死者 1,330人

### ◆11月11日(日)辻堂地区津波避難行動訓練がありました

9:00 地震発生、9:03 大津波警報が発令されました。津波に対して安全だとご自身が考える場所に避難することがこの訓練に込める目的です。

昨年同様、高台(堂面第二公園)へ避難し、アンケートを提出しました。

#### 【近隣で新しく津波避難ビルに指定された施設】

- 辻堂浄化センター(辻堂西海岸 3-3-1)
- グランシティ湘南海岸Ⅱ ガレリア・プラージュ
- 【津波避難ビル指定解除】は×藤沢ニューライフ(辻堂西海岸 1-6)



**忍び込みにご注意！在宅中の空き巣が多発しています！詐欺の被害にも合わないようしましょう！**

### ◆報告 第5回 防犯パトロール

12/5（水）19時より牧野防犯部長宅前から出発。  
お当番は7組、9組の組長さん・班長さん。役員さん。  
\*リーダー 牧野進一、本多輝雄、三木瑛子、玉木貴久  
森孝太郎、鈴木美幸、佐々木洋子、岩崎美奈子、田口恵、  
小崎日義、山口順子（様を省略）  
寒くもなく丁度良いパトロール日になり、11名でまわりました。無灯火の自転車はなく、放置自転車が2台。  
その内の1台には警察が見回った印の紙が添付されていたので、処分されると思われます。また、道路標識にいたずらのワッペンが貼ってありました。

### ◆次回 第6回 防犯パトロール

**2/4(月) 集合19時 湘南ハイム入口付近  
どなたでも参加できます！！**

**お当番は1組から9組の組長さん・班長さんで  
今年度参加されてない方、ご協力お願いします。**  
ご都合が悪い方は防犯部長・牧野まで連絡をいただけますと幸いです。

\*リーダー有賀正義。瀬川さん、杉本さん、他  
1～9組の組長さん、班長さんのうち、まだお当番をされてない方。当日参加も歓迎します。

**牧野さん、表彰 おめでとうございます！『防犯市民のつどい』**

### ☆東海岸三丁目・防犯部長の牧野 進一さんが表彰されました！おめでとうございます♪

12月2日（日）藤沢市民会館で開催された『平成30年第35回防犯市民のつどい』で牧野防犯部長が表彰されました。この日は、「みんなでつくろう安全・安心のまち ふじさわ」を合言葉に、日頃から防犯活動にご尽力頂いている方々の表彰やアトラクションとして防犯コンシェルジュによる講演、防犯活動事例発表、防犯落語が披露されました。藤沢市防犯連合協議会会長・鈴木藤沢市長は、「安全で安心して暮らせる社会の実現は、藤沢市民共通の願いです。それを目指すために藤沢市内14地区を中心に各防犯パトロール隊の方々が日々防犯活動に尽力頂いています。『自分たちの地域は自分たちで守る』という意識で地域の実践活動を広げてゆき、関係市民団体・警察・行政・企業が力を合わせ、犯罪防止運動を積極的に進めていきましょう。」と、挨拶されました。そして、長年地域防犯活動に尽力されて来た方の表彰が行われました。藤沢市防犯連合協議会会長表彰2団体、22人、同藤沢警察署長連名表彰、6団体、個人22人、藤沢北警察署長連名表彰 1団体、個人11人が表彰されました。また、全国防犯協会連合会会長表彰 防犯荣誉銀章1名、同銅章2名の伝達授与式が行われました。



### ◆11/18（日）第24回藤沢市一日清掃デーの報告

自宅周辺公道を清掃してから東海岸一丁目町内にある北浜見山公園に午前9時に集合しました。東海岸三丁目町内会の防災倉庫は同公園内にあり、末永く気持ちよく倉庫を置かせていただくために、今年より清掃しました。ゴミ3袋の収集に協力された9名の方へ、共用10リットル市ゴミ袋を差し上げました。来年もお力添えを願います。

12月1日～12月31日は飲酒運転根絶強化月間でした。また、毎月1日・15日は交通安全日です。市内の主要な交差点で午前7時30分から午前8時30分まで、通学児童生徒等の交通安全を指導しています。毎月5日・22日は「ふじさわし自転車マナーアップの日」と定め、自転車利用者に対し指導・啓発を行っています。冬休み中、お子様の自転車事故についてもご注意をお願いします。

新年おめでとうございます。年々、当町内会の団結力が高まっているのも、ここにお住まいの皆様のお陰と感謝しております。様々な行事を用意しておりますので、ぜひご参加され、お楽しみください。素敵な一年になります様に。役員一同本年も宜しく願いいたします。次号は3月発行予定。【広報：前田久美子 / 小川千代子 / 高橋伸佳】